

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

この研究は、東京科学大学医学系倫理審査委員会の承認及び機関の長の許可を得ています（承認番号：東京医科歯科大学 M 2022-280 番）。

研 究 課 題 名	ナショナルデータベースや介護保険総合データベース等を活用した医療・介護特性を総合的に捉えた AI プロトタイプの開発と分析結果を根拠とした医療介護特性別の最適介入に関する研究
研 究 対 象	厚生労働省が保有する、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）と介護保険総合データベース（介護 DB）において、悪性腫瘍/循環器疾患/骨折/肝硬変の診断あるいは診療行為、透析の診療行為、あるいは介護サービス利用者/要介護認定者（事業対象者含む）かつ 65 歳以上の方。 予定症例数は、約 3000 万人としております。
研 究 の 目 的 と 方 法	本研究では、NDB と介護 DB を活用して、多様な場面を想定して、原疾患や要介護度などを考慮した予測モデルを機械学習により構築することを目的としています。具体的には、悪性腫瘍や循環器疾患等を有する高齢者及び介護サービス利用者に着目して、予後（症状・再入院・生存期間・要介護度・医療介護費）を予測します。 本研究により、AI (artificial intelligence) 開発のユースケースを想定した予測モデルを多数構築することにより、今後に必要な取り組みなどを整理できることが期待されます。
研 究 の 期 間	研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	本研究では、既に匿名化された既存試料・情報のみを用います。NDB データ・介護 DB データの中には、個人が特定できない形で、性別、年齢、病名や診療行為に関する情報が記録されています。
研究に用いる試料・情報の取扱い	・研究実施の手順：厚生労働省から、研究責任者に、データが保存されたハードディスクの提供を受けます。研究責任者は、厚生労働省から提供を受けたハードディスクを、追跡可能な方法で、委託事業者である、一般社団法人臨床疫学研究推進機構に送付します。委託事業者は、厚生労働省から提供を受けたハードディスクに保存されたデータを、外部記憶媒体（RAID 対応 SSD）に保存し、その後、厚生労働省から定められた方法で、ハードディスク内のデータを消去して、厚生労働省にハードディスクを返却します。提供されたデータについて、二次利用の可能性はありません。 ・試料・情報・記録等の保管場所：本学で厚生労働省から提供を受けたデータを保存せず、委託先事業者においてデータを保管します。 ・保管責任者：研究代表者 福井小紀子 ・保管期間：厚生労働省から提供を受けたデータの保管期間は、厚生労働省に提出した申出書に定められた期間（データ提供日から 2 年間、厚生労働省の承認が得られた場合は最大 4 年間）とします。 ・廃棄方法：厚生労働省に報告した破棄方法に従います。具体的には、NDB と

	介護 DB の利用規約に従い、厚労省に提出した申出書に定められた期間内に、データ消去ソフトウェアにより破棄します。また、委託事業者から研究責任者に破棄の記録を提出するように求めます。
問 い 合 わ せ 先	本研究に関するご質問等につきましては、以下の連絡先までご連絡ください。なお、本研究は、厚生労働省から提供された個人が特定できないデータを利用しておりますので、データの利用拒否の申し出などには一切対応できないこと、ご承知おきください。 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 3号館 19 階 国立大学法人 東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 教授 福井 小紀子 03-5803-5355